

# 世帯消費動向指数（CTIミクロ）の 見直しについて

令和5年11月20日

総務省統計局

# 目次

---

1. CTIミクロの今後の位置づけについて
  1. 消費動向指数（CTI）の概要
  2. CTIミクロの取扱いの変更
2. 公表内容の拡充について
  1. 公表内容拡充の具体的な対応
  2. 季節調整値の公表系列の見直し

# 消費動向指数（CTI）の概要

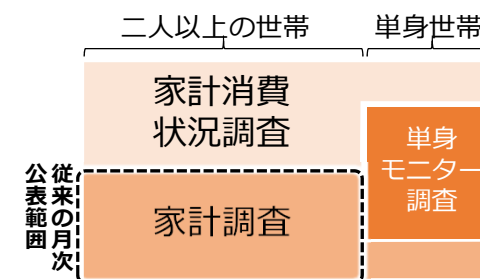
ビッグデータ等を活用し、消費動向をマクロ・ミクロの両面から捉える速報性の高い消費指標の体系：消費動向指数（CTI：Consumption Trend Index）を新たに開発し、

- 2018年1月分から参考指標として公表開始
- 2021年7月分公表時に、2020年基準改定を実施

## 世帯消費動向指数 （CTIミクロ）

世帯の平均消費支出額（10大費目別、世帯類型別など）の月次動向を示す統計指標

- ◆ 家計調査（標本規模：二人以上の世帯 約8千、単身世帯 約7百）の結果を、
  - 家計消費単身モニター調査（標本規模：2千4百）
  - 家計消費状況調査（標本規模：約3万）の結果等と統計的手法によって補正・補強し、標本規模を擬似的に拡大、推計精度を向上



## 総消費動向指数 （CTIマクロ）

国内経済における個人消費総額（GDPにおける家計最終消費支出）の月次動向を示す統計指標

- ◆ GDP統計（家計最終消費支出）をターゲットとして、最新の動向を推測
- ◆ GDP統計の四半期別公表値では観測できない月次の値を時系列回帰モデルによって推計
- ◆ 2022年12月に、ビッグデータ利活用の成果に関する報告書をウェブサイトに掲載

# 現行のCTIミクロの公表系列

CTIミクロでは、単身世帯を含む総世帯の結果を月次で公表している。

## 主要な統計表

基本系列及び調整系列※  
それぞれについて  
10大費目別及び  
財・サービス分類別の  
指数値及び増減率を  
表章

第1-1-1表 10大費目別 世帯消費動向指数（原数値）

総世帯											
月	名目 Nominal										
	消費支出	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	その他の消費支出
2017年 1月	103.3	25.3	6.6	8.7	3.7	4.6	4.4	16.1	-	10.1	-
2月	94.9	23.7	7.2	9.2	3.0	3.0	4.5	16.0	-	9.6	-
3月	111.8	26.8	7.8	8.8	3.6	4.4	4.7	21.2	-	11.3	-
4月	107.8	26.0	7.5	8.1	3.4	4.3	4.5	17.3	-	11.2	-
5月	102.9	27.3	7.8	7.0	3.9	4.3	4.6	16.9	-	10.8	-
6月	97.3	25.8	7.9	6.3	4.0	3.7	4.7	16.4	-	10.3	-
7月	102.0	27.3	8.1	6.0	5.2	4.2	4.6	17.4	-	10.7	-
8月	103.0	28.9	7.4	6.6	4.4	3.1	4.5	16.4	-	12.3	-
9月	99.4	26.0	7.7	6.5	3.8	3.2	4.4	17.0	-	10.1	-

## 参考詳細表

世帯主の年齢階級別  
及び世帯人員別に  
品目別支出金額を表章

第2表 世帯主の年齢階級別 1世帯当たりの品目別支出金額

合成金額 総世帯								
品目分類	平均	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	(再掲) 65歳～
消費支出	255,575	195,992	250,516	296,675	300,791	273,266	212,588	223,608
食料	63,977	43,168	61,242	71,273	70,306	69,720	58,510	60,754
穀類	4,551	2,230	4,276	5,174	5,208	4,967	4,190	4,382
米	1,117	496	940	1,118	1,278	1,214	1,164	1,175
パン	2,033	996	1,921	2,355	2,335	2,233	1,830	1,943
食パン	623	231	543	655	669	692	650	669
他のパン	1,410	765	1,378	1,700	1,666	1,541	1,180	1,275
麺類	1,075	558	1,108	1,303	1,271	1,177	881	941
生うどん・そば	227	91	208	246	241	254	229	237

※ 調整系列：世帯主の年齢階級の分布と世帯人員の分布を基準年で固定して算出した世帯消費動向指数

# CTIミクロの取扱いの変更

CTIミクロについては、誤差集計の手法を確立したほか、2020年基準改定において合成方法を改善するなどにより精度向上を図り、一定の成果を得たところ。

これを踏まえ、可能な限り早期に（最速で2024年1月分公表より）CTIミクロの取扱いを参考指標から正式な指標とする。

## 現行の公表冊子

令和5年 総務省	
<参考指標>	
2020年基準 消費動向指数 (CTI) 2023年（令和5年）9月分	
<small>消費動向指数は、家計調査の結果を補完し、消費全般の動向を捉える分析用のデータとして総務省統計局が家計消費指数を吸収するとともに、単身世帯を含む当月の世帯の平均的な消費、家計最終消費支出の総額の</small>	
◎ 概況	
世帯消費動向指数（総世帯）は 2020年を100として 名目 100.3 実質 9	
前年同月比は 名目 0.4%の減少 実質 3.8%の減	

※ CTIマクロについては、引き続き参考指標とする 4

# 公表内容拡充の具体的な対応

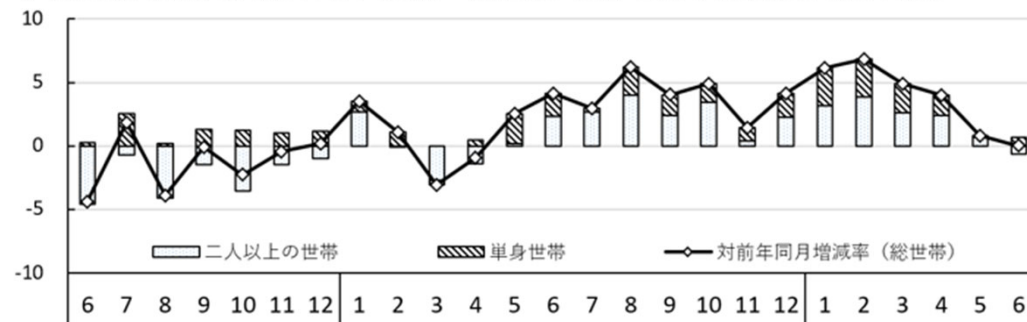
CTIミクロを正式な指標とすることに伴い、以下のとおり公表内容を拡充する。

## 新たに追加する内容（イメージ）

### 世帯の種類別の寄与度

総世帯結果に対する  
世帯の種類別の寄与度を  
時系列のグラフで公表冊子に掲載

◎ 消費動向指数の対前年同月増減率（総世帯）及び世帯の種類別寄与度の推移



### 項目別の寄与度

総世帯の対前年増減率の増減  
について、主に寄与した項目を  
公表冊子に掲載

中 分 類	品 目
<増加項目>	
交通	自動車等購入
電気代	パック旅行費
教養娯楽サービス	宿泊料
<減少項目>	
通信	冷暖房用器具
家庭用耐久財	
魚介類	

実質寄与度 [ 0.50 ] ..... 実質寄与度 [ 0.15 ]  
 [ 0.42 ] ..... [ 0.22 ]  
 [ 0.39 ] ..... [ 0.13 ]  
 [ -0.69 ] ..... [ -0.13 ]  
 [ -0.25 ] .....  
 [ -0.17 ] .....

# 公表内容拡充の具体的な対応（続き）

既存の合成金額の参考詳細表※について、以下のとおり公表内容を拡充する。

- ①各参考詳細表に総世帯に対するウェイト（1万分比）を追加
- ②各参考詳細表に財・サービス分類別の合成金額を追加
- ③年齢階級別の参考詳細表に39歳以下の区分を追加

## ①～③を追加した参考詳細表（イメージ）

2024年1月分  
二人以上の世帯

品目分類	平均	～39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳～	別掲		
							～ 29歳	30～ 39歳	65歳～
<b>ウェイト</b>	<b>6,544</b>	<b>919</b>	<b>1,195</b>	<b>1,290</b>	<b>1,154</b>	<b>1,990</b>	-	-	-
消費支出	2,225	277,878	333,665	351,297	314,586	252,602	248,654	252,602	265,253
食料		73,828	91,698	90,531	99,991	83,167	58,109	83,167	85,042
穀類		5,159	6,941	6,765	6,765	6,461	3,941	6,461	6,583
米		1,084	1,480	1,084	1,084	1,084		1,654	1,679
パン		2,230	3,097	2,991	2,991	2,991		2,845	2,881
食パン		614	810	810	810	810		984	991
他のパン		1,972	1,616	2,287	2,287	2,287		1,861	1,890
：									
他の負担費				20	8	5	92	5	6
仕送り金				197	222	130	118	130	143
<b>財・サービス支出計</b>				582	303,920	240,289	233,961	246,042	257,136
<b>財(商品)</b>				4,475	176,830	145,411	137,900	143,418	147,747
<b>耐久財</b>	18,905	20,478	20,645	23,966	29,921	15,971	23,779	22,708	16,001
<b>半耐久財</b>	32,660	26,712	35,260	32,667	30,611	21,049	28,280	18,746	31,671
<b>非耐久財</b>	132,341	122,804	142,945	152,085	138,503	106,262	104,647	113,310	122,166
<b>サービス</b>	120,339	112,372	146,055	153,468	136,511	109,843	107,585	100,933	105,064
<b>食料(財・サービス)</b>	93,961	97,127	117,146	123,186	96,910	84,748	83,541	81,459	91,478

①総世帯に対する  
ウェイトを追加

③39歳以下の  
区分を追加

②財・サービス  
分類を追加

※ また、世帯の種類別並びに項目別及び財・サービス別の寄与度等を表章した参考詳細表を追加する

# 今後のC T I ミクロの公表系列

主要な統計表（指数、増減率）

系列・区分		世帯の種類		総世帯		二人以上の世帯		単身世帯	
		原数値、季節調整値		原	季	原	季	原	季
基本系列	消費支出	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	10大費目	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	財・サービス	◎		◎	◎		◎	◎	
調整系列	消費支出	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	10大費目	◎		◎	◎		◎		
	財・サービス	◎		◎	◎		◎		

◎：名目値及び実質値を表章

品目別、財・サービス分類別 支出金額の参考詳細表（合成金額）

系列・区分		世帯の種類		総世帯		二人以上の世帯		単身世帯	
		追加サービス・財・サービス		原	季	原	季	原	季
品目別	世帯人員別			○	○	○	○		
	世帯主の年齢階級別			○	○	○	○		
	男女・年齢階級別							○	

○：名目値を表章

項目別、財・サービス分類別 対前年増減率の参考詳細表（対前年増減率、寄与度※）

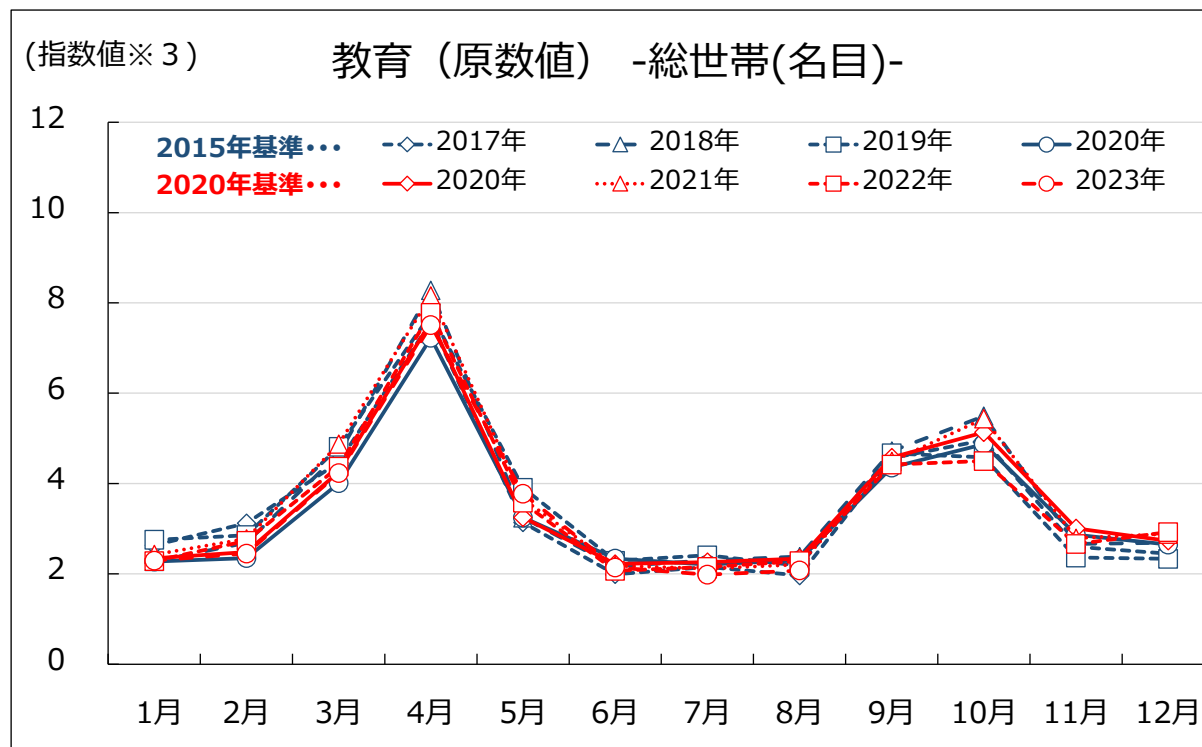
系列・区分		世帯の種類		総世帯		二人以上の世帯		単身世帯	
		財・サービス		原	季	原	季	原	季
項目別	財・サービス	◎	追加			◎	追加		◎

◎：名目値及び実質値を表章 ※：総世帯に対する世帯の種類別寄与度も表章



# 季節調整値の公表系列の見直し（CTIミクロ -教育-）

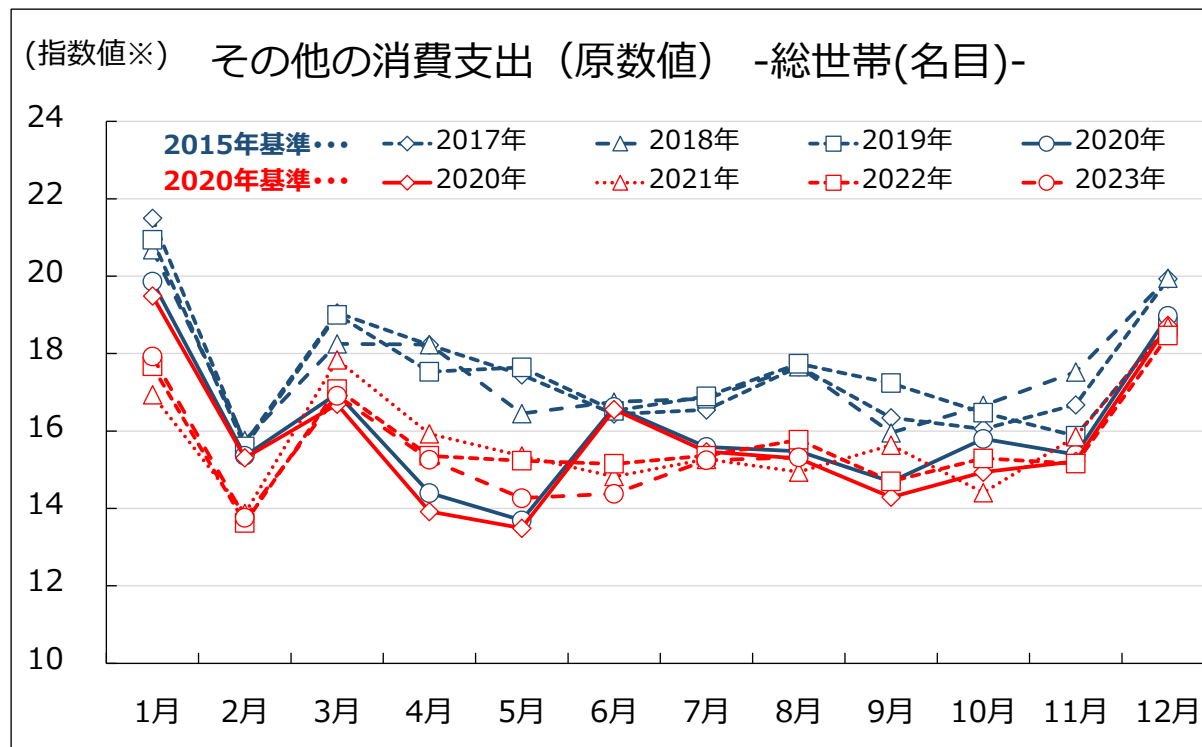
CTIミクロの「教育」及び「その他の消費支出」については、2020年基準改定において分類を見直した※<sup>1</sup>ことから、季節調整値を当面作成しないこととした。今回、新旧基準について原系列の動き等を確認したところ、「教育」については、新旧基準間で季節性に違いが見られなかったことから、季節調整値を作成する※<sup>2</sup>こととする。



- ※<sup>1</sup> 仕送り先世帯で発生した授業料等を事業者へ直接払った際の分類について、「仕送り金」から「授業料等」へ見直した
- ※<sup>2</sup> 原系列についても、2019年以前の値を結果表に掲載することとする。なお、単身世帯については「教育」の季節調整値を作成しない
- ※<sup>3</sup> 2015年基準については、2020年の消費支出が100となるよう調整

## 季節調整値の公表系列の見直し（CTIミクロ -その他の消費支出-）

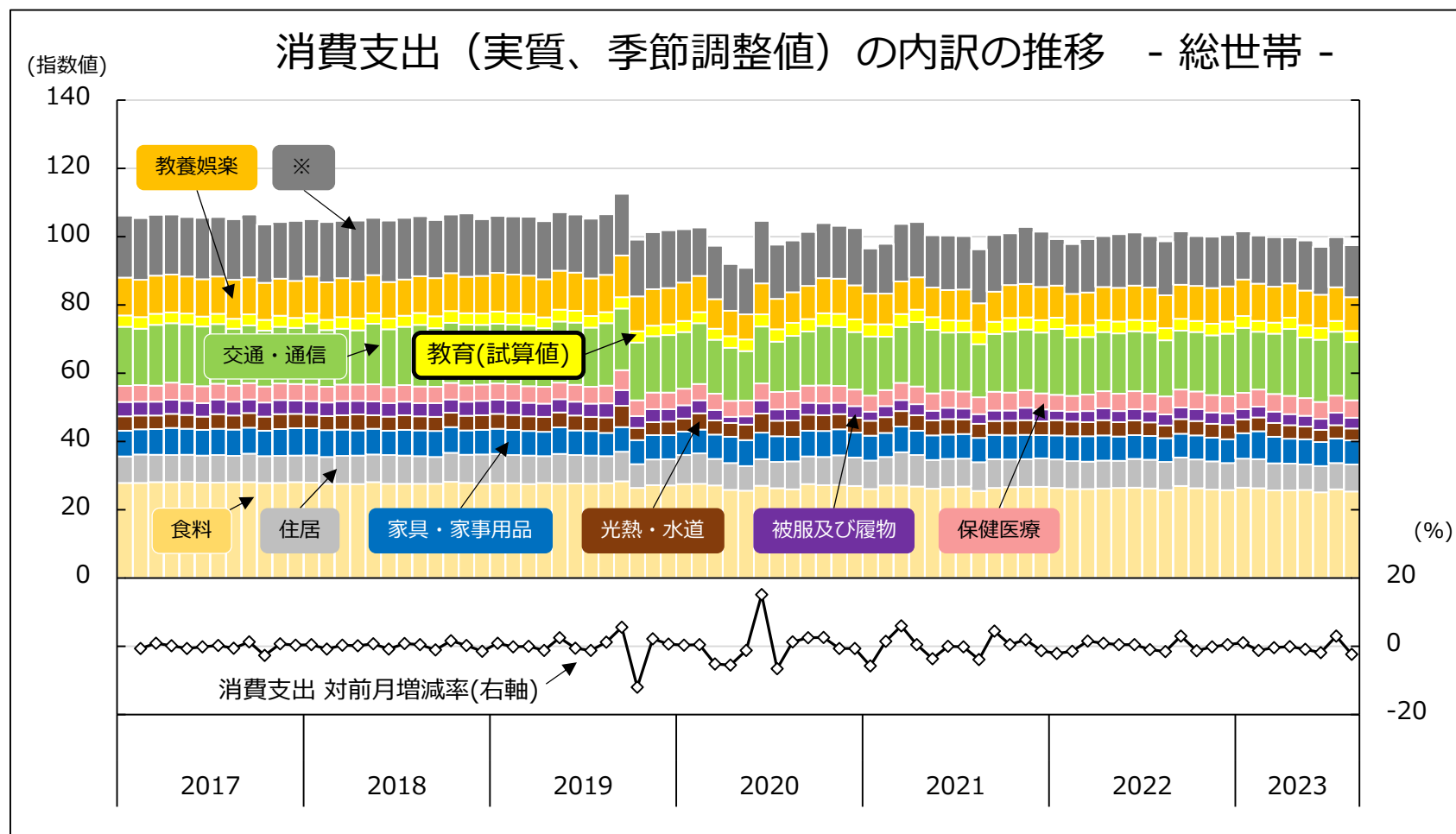
「その他の消費支出」については、明確な安定した季節性が見られないことから、引き続き季節調整値を作成しないこととする。



※ 2015年基準については、2020年の消費支出が100となるよう調整

# CTIミクロにおける今後の季節調整値

CTIミクロの費目別の季節調整値は消費支出全体の季節調整値の内訳となっており、今後はその内訳について、「教育」を含めた分析が可能となる。



※ 消費支出から「食料」～「教養娯楽」（「教育」の試算値を含む）の合計を減じて算出したものであり、「その他の消費支出」に季節調整を行った場合、必ずしもこの値とは一致しない

# 今後の季節調整値の公表系列

CTIミクロを正式な指標とすることに伴い、CTIミクロ及び家計調査の季節調整値の公表系列を以下のとおりとする。

## 季節調整値の公表系列

系列・区分等		世帯の種類		総世帯	二人以上の世帯		単身世帯
						勤労者世帯	
C T I	月次・四半期	基本系列	消費支出	◎	◎		◎
			10大費目	◎	◎		◎
		調整系列	消費支出	◎	◎		
家 計 調 査	月次	実収入				◎	
		消費支出			◎	◎	
		消費支出（除く住居等）			◎		
		可処分所得				◎	
		平均消費性向				○	

◎：名目値及び実質値を表章      ○：名目値を表章